



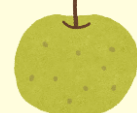
東川園長ごあいさつ～実りの秋に

朝夕の風に秋の気配を感じる頃となりました。園庭の木々も色づき始め、子どもたちの元気な声とともに、季節の移ろいを楽しんでいます。

さて、本園では児童発達支援センターとしての中核機能の一つである「地域のインクルージョン推進」を目的に、地域住民および職員を対象としたゆりかごセミナーを開催しました。今回は兵庫大学の橋本正巳先生を講師にお迎えし、「よりよく生きるための気づきを促すためのかわり」というテーマでご講演いただきました。

橋本先生からは、子どもの自立を支えるためには、まず「気づき」を促す関わりが重要であることが示されました。子どもの行動を「なんでだろう？」と問いながら実態把握（アセスメント）を行い、一人で考えるのではなく、周囲と共通理解を深めることの大切さが強調されました。また、子どもにとってわかりやすく、具体的かつ肯定的な関わりを様々な場面で行うこと、環境設定を工夫すること、そして本人が自ら工夫する力を育む支援の在り方についても学びました。

セミナーでは、発達の遅れや特性を持つ子どもへの理解を深めるための具体的な事例紹介があり、参加者からは「日常の関わり方を見直すきっかけになった」「地域でできる支援の可能性を感じた」といった声が寄せられました。また、職員にとっても、保護者との連携やチーム支援の在り方を再確認する貴重な時間となりました。今後も地域とともに、互いを認め合うインクルーシブな社会の実現に向けて、学びと実践を重ねてまいります。



ふりかけプロジェクト『プール教室開催』

今回のふりかけプロジェクトは、水治療育で水泳教室より斎藤先生が講師として参加して下りました。参加人数は11名でした。私にとっては初めての参加で、受付と見守りを担当させていただきました。

プールサイドから見える参加されているお子様たちの表情は期待感に満ち溢れ、水の感触や水中での動きを全身で楽しまれていました。また、斎藤先生のご指導の下、泳ぐことを楽しまれていたお子様もおられました。

そして、お子様や保護者様、それぞれが久しぶりの再会を喜ばれている様子も印象的でした。ふりかけプロジェクトを通して人と人との繋がりが広がり、たくさんの笑顔を見ることができ、とても有意義な時間を一緒に過ごさせていただきました。ご指導してくださった斎藤先生、参加してくださったお子様と保護者様たちに、心より感謝申し上げます。（城野）

保育所等訪問支援～地域連携そして笑顔に

ゆりかご園では、通園・外来で利用されている子どもたちがそれぞれの地域で通っている幼稚園、保育園、小・中学校へ出向き、子どもたちが安心して集団生活に参加できるようサポートしています。

運動会にどうやって参加してもらおうか？歩行器やその子専用の椅子はどんな時にどうやって使えばいいの？給食、これ食べられるかな？どうしたら食べやすいかな？この活動にどうしたら楽しくその子らしく参加できるかな？などなど、、、支援内容は多岐にわたります。

その子の今の課題を周りの大人がしっかりとキャッチし、保護者、ゆりかご園スタッフと地域の先生方で一緒に考え取り組んでいます。訪問は1回きりではなく、年に数回訪問することでその子の成長をみんなで共有しながら、次の支援に繋がっています。

気になることがありましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

今後も、地域の中で子どもたちが笑顔で過ごせるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。（多幡）



保護者お楽しみ会の開催～ほっこり広場

9月17日（水）18日（木）に、2回目となる「保護者お楽しみ会」を開催しました。今回は、風船やボールを使ったゲームと、お子さまの写真を飾るフォトフレーム作りを楽しみました。

風船バレーやポッチャでは、熱中する姿やチームプレーが見られ、私自身も一緒に参加しながら元気をいただきました。フォトフレーム作りでは、限られた時間の中で工夫を凝らし、素敵な作品が次々と出来上がっていました。保護者の方のご提案もあり、作品は飾らせていただきます。そして、この会の名前も変更しても良いのではという案もいただき、今回参加して下さった方でアンケートをした結果、「保護者ほっこり広場」に決まりました！

「保護者ほっこり広場」を通して、クラス関係なく交流し、お子さまの活動と繋がりのある遊びや制作をしていきながら、保護者の皆様にとっても、気分転換やリラックスできるひとときとなれば嬉しく思います。

スタートしはじめたばかりで、至らない点もあるかと思いますが、アンケートには温かいお言葉をいただき、心より感謝しています。いただいたアイデアも、今後の活動に取り入れていきたいと思っています。（高松）



フォトフレーム作りの様子



フォトフレーム完成



フォトフレーム作りの様子

水治療法（プール教室）

今年度は全9回開催でき、のべ38名のお子様、保護者様にご参加いただきましてありがとうございました。はじめにアンケートを取らせて頂いた際、多くのお子様水に触れる経験はされている様子でしたが、深いプールは経験のない方が多く、「不安はあるが、ぜひ行ってみたい」というお声を多くいただきました。

初回は緊張・不安が強かったお子様も、回数を重ねると表情が和らぎ、楽しむ姿や自信にあふれた表情をされていました。保護者様も同様で、後半はお子様と一緒に楽しんでいただけていることが多かったです。近年、保育園、幼稚園、児童発達支援事業所、多くの場所でお子様保護者様と離れて過ごされることが増えました。忙しい生活の中で、お子様との時間を一緒に持っていただけのゆりかご園での時間は、本当に貴重な時間であると感じています。プールのよう、お水の中で身体を感じ、重力のない世界で身体を動かす。保護者様と身体を密着させ、共に色々な表情や感情を交えて活動できる時間を持てる、とても素敵な活動が“プール”であると改めて感じました。泣き声や不安な表情、リラックスした表情、楽しい声、笑顔、色々な表情を見せてくれたお子様たちから、「生きる強さ」を感じています。これをきっかけにご自宅での水遊びやレジャーへと、お子様の経験を広げて活躍していただけたらと思います。素敵な時間を共有させていただき、ありがとうございました。（中谷）

